

2008年（平成20年）12月17日

カラービットコードを再帰性反射化、遠方や暗所でも認識 リフレクティブカラーコードシステムを物流や保守点検用途に販売開始

住友スリーエム㈱では、カラービットコードの開発メーカーであるピーコア㈱（東京都千代田区代表：漢人邦夫）と共同で技術開発を進めていた再帰性反射技術の応用により、カラービットコードを遠方や暗所でも認識可能にしたリフレクティブカラーコードシステムの開発が完了したことに伴い、今後は独占的なライセンス契約を締結し、来年4月よりリフレクティブカラーコードシステムを住友スリーエムが販売していくことにこのほど合意しました。

カラービットコードとは、開発ベンチャーのピーコア㈱が開発した世界初の色の配列・組み合わせによる自動認識コードで、バーコードや二次元コードがゆがみやボケに弱い点や、場所に制約があるなどに比べ、色さえ認識できれば解読できるという新しいコードシステムです。

今回応用された住友スリーエム独自の再帰性反射技術とは、光源の方向に反射光が戻る構造を持った材料で、カラービットコードを印刷することにより、光源へ色情報を戻し認識を可能にします。読み取りには、投光器と一体化した専用カメラによりコードが貼られた部位を撮影し、反射光とともに色情報を読み取ります。

リフレクティブカラーコードシステムは、光が届けば約100メートル離れたコードを読み取り可能です。用途としてはビルやプラントの高所での保守点検、物流での移動中の物品の特定や多数の物品の同時読み取りなど広範囲な用途が考えられます。



リフレクティブカラーコードシステムの現場施工例

住友スリーエムでは、システム販売を意図しており、来年4月までに試験導入を完了します。4月からは物流管理用途を主体に展開する意向で、販売に際しては新規需要開拓のためのトライアルキットを準備します。

リフレクティブカラーコードシステムについてのお問い合わせは、
住友スリーエム セキュリティおよびトレーサビリティ製品部 03(3709)9778